

取扱説明書

目次

- 1. 概要----- P 1
- 2. 各部の名称及び仕様----- P 1
- 3. 電気回路動作説明----- P 2～P 3
- 4. 定期点検----- P 4
- ※ 取扱上の注意----- P 5～P 9

- ・御施工並びにお取扱い前に必ずお読み下さい。
- ・いつでも参照できますように大切に保管して下さい。
- ・最終的に空調設備の管理を担当なされる方の御手元に届きます様、関係各位の御配慮を御願ひします。
- ・何か不明の点がございましたら、当社迄御連絡下さい。

西邦工業株式会社

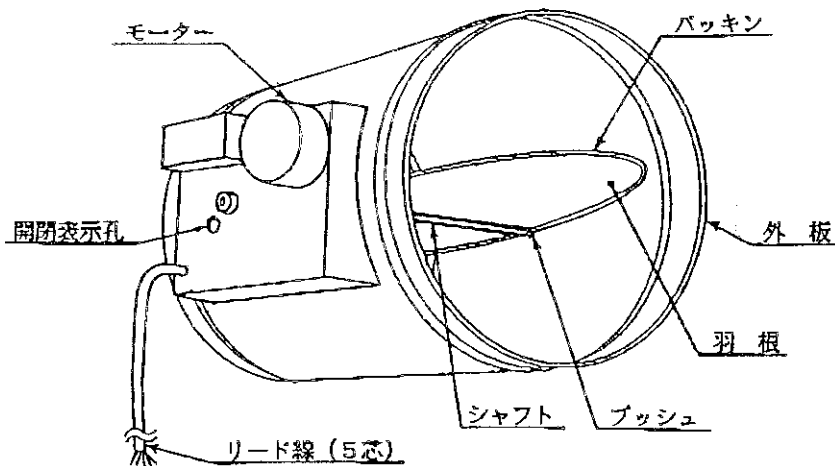
本 社 〒179-8902 東京都練馬区錦 2-23-5 TEL 03-5398-3011
大 阪営業所 〒578-0947 大阪府東大阪市西岩田 2-6-27 TEL 06-6787-7871
名古屋営業所 〒462-0844 愛知県名古屋市北区清水 2-10-5 TEL 052-919-2882

1. 概要

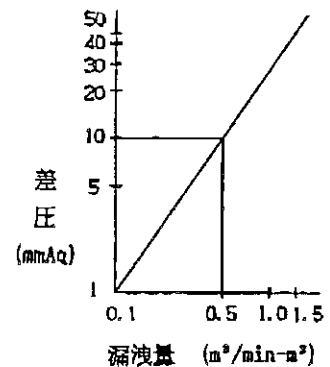
本製品は、シリコンゴムパッキンを2枚の鋼板で挟む、特殊な羽根構造（実用新案登録済）となっています。気密性に優れ、制振効果があり、外気、騒音、臭気、風雨等の侵入を防ぐので、寒冷地や都市での使用に適しています。

また、給排気や換気用として、ファン類との連動が可能ですので、インテリジェントビルやマンション等にも適しています。

2. 各部の名称及び仕様



社内判定基準
 差圧10mmAq時、開口面積当たり
 0.5m³/min-m²とする



開閉器の回路図はP. 2を御参照下さい。

部材名	材質
外板	亜鉛鉄板 (SGCC) 1.6°
羽根	亜鉛鉄板 (SGCC) 0.8°× 2枚
シャフト	層き棒鋼 (SGD400-D) 亜鉛メッキ HEX 8
ブッシュ	黄銅製 (C3602BD) φ10 (ダクトサイズ φ100 ~ φ150) φ13 (ダクトサイズ φ175 ~ φ300)
パッキン	シリコンゴム 1.0°

項目	仕様
定格電圧	AC100V
動作電流	0.1A以下
動作時間	(ダクトサイズφ100~φ150) 約3秒 (ダクトサイズφ175~φ300) 約17秒
風速	8 m/s MAX
静圧	60 mmAq MAX
ダクト内温度	+5℃ ~ +60℃ ※

※注意

ダクト内外の温度差が大きいと、結露により、電気部品に不具合が生じる場合があります。保温工事が必要な場合は別仕様となりますので、詳細につきましては当社までお問合わせ下さい。

配線その他

本システムの配線及び電源は、昭和45年建設省告示1829号第3号及び第4号に定めるものとします。

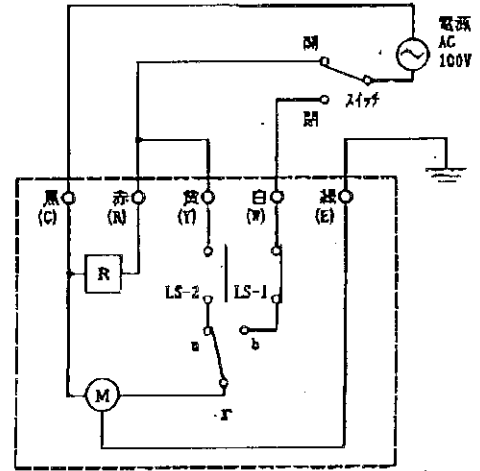
建設省告示第1829号 (昭和45年12月28日) 排煙設備の構造基準を定める件 (抜粋)

- 三 排煙設備に用いる電線は、600ボルト耐熱ビニール電線又はこれと同等以上の耐熱性を有するものとする。
- 四 電源を必要とする排煙設備の予備電源は、自動充電装置又は時限充電装置を有する蓄電池（充電を行なうことなく30分間連続して排煙設備を動作させることができる容量以上で、かつ、開放型の蓄電池にあっては、減液警報装置を有するものに限る。）、自家発電装置その他これらに類するもので、かつ、常用の電源が断たれた場合に自動的に切り替えられて接続されるものとする。

3. 電気回路動作説明

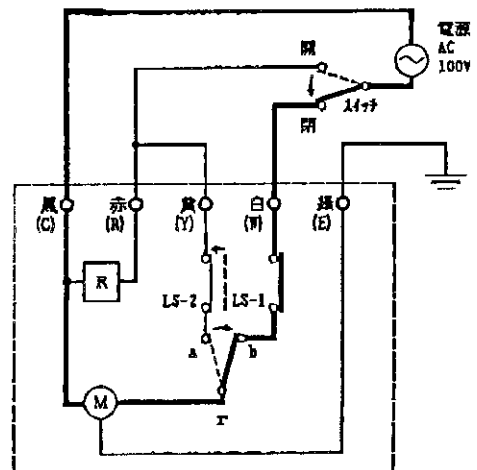
(1) 開放完了状態

符号	名称
C	共通電源端子
R	リレー端子
Y	開放電源端子
W	閉鎖電源端子
E	アース端子
LS-1	閉動作停止リミットスイッチ
LS-2	開動作停止リミットスイッチ
R	リレー
r	リレー接点
a	a接点
b	b接点
M	モーター



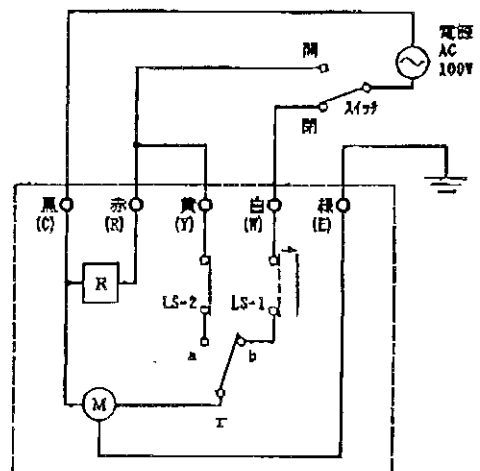
(2) 閉鎖動作

スイッチを閉側にして、C-W間に通電すると、リレーRは通電せず、リレー接点rはb接点が閉じ、モーターに通電して、モーターは回転します。同時にLS-2が閉じます。



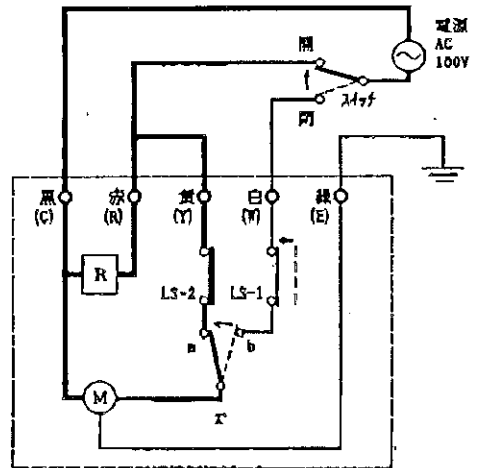
(3) 閉鎖完了

羽根が閉鎖すると、LS-1が開いて、モーターへの通電が遮断され、モーターは停止します。



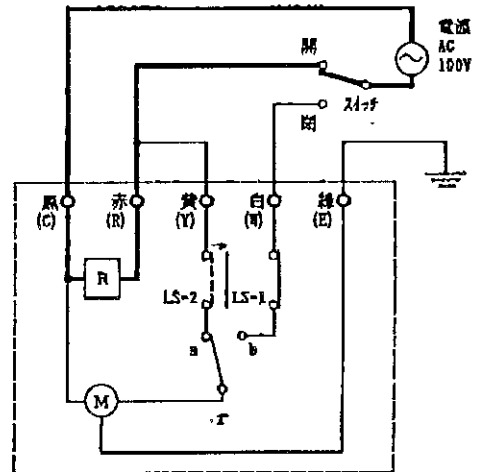
(4) 開放動作

スイッチを開側にして、C-R間とC-Y間に通電すると、リレーRが通電し、リレー接点rはa接点が閉じ、モーターに通電して、モーターは回転します。同時にLS-1が閉じます。



(5) 開放完了

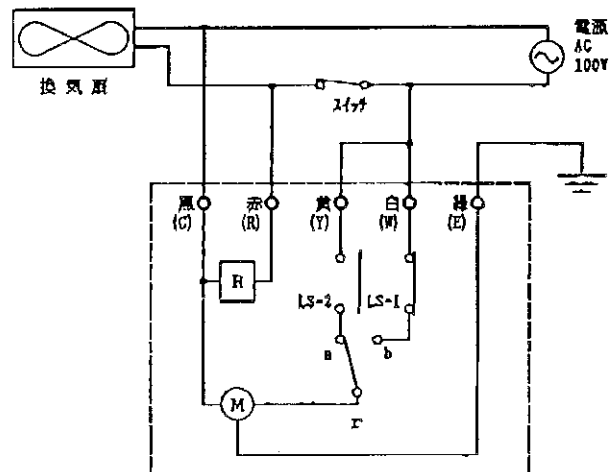
羽根が開放すると、LS-2が開いて、モーターへの通電が遮断され、モーターは停止します。



※ 厨房等の排気ファンや換気扇との連動も可能です。

右に換気扇運動回路を示します。
(ダンパー開放完了状態)

換気扇運転時・・・ダンパー開
換気扇停止時・・・ダンパー閉

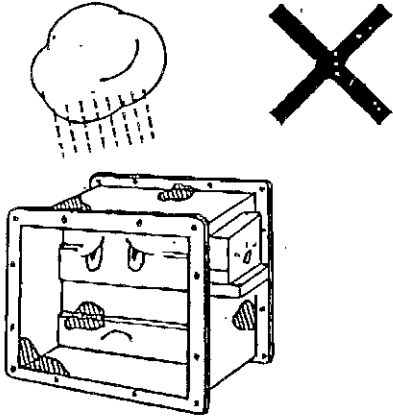


5. 定期点検

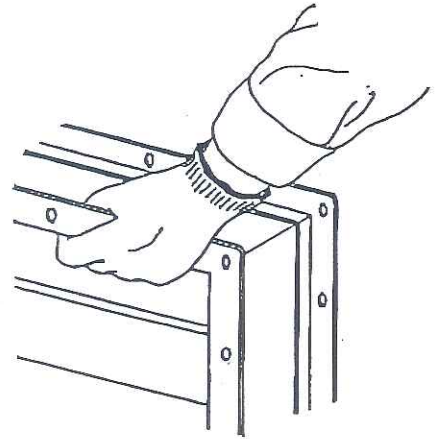
ダンパーの性能を十分に発揮するためには、日頃の保守点検が重要です。下記に示す重要ポイントを定期的に御点検頂いて、常に完全な状態で御使用下さい。

- 操作や点検が容易な位置にあるか
- ダンパーを取付けるダクトは、十分に支持固定されているか
- 取付方向は正しいか（気流方向、天地方向等）
- ダクトとの接続部は、十分に固定され、シールされているか
- ダンパーに捻れ、歪み等の変形が生じていないか
- ダンパーから著しい漏洩が生じていないか
- 動作時に異音はないか
- 羽根はスムーズに開閉するか
- パッキンに異常はないか（亀裂、破れ等）
- ダンパー内部及びダクト内部に、動作の妨げとなるような異物が混入していないか
- 羽根部、軸部その他ダンパー内外部にサビは発生していないか
- 結線はしっかりと行なわれているか

取扱上の注意

保 管	<p>保管の際は、雨ざらし、日ざらしを避けて下さい。</p> <p>・・・サビや電氣的支障の原因となります。</p> 
管	<p>保管時は、埃や塵等が付かないようにして下さい。</p> <p>・・・埃や塵等で、動作に支障をきたす場合があります。</p>
	<p>積み重ねる際は、変形や歪みの生じないように、衝撃や積み上げ過ぎを避けて下さい。</p>
使 用 条 件	<p>一般ダンパーは、使用環境として、常温の、清浄な空気、結露のないことを想定して設計されています。次の様な条件下では不具合の生じる場合がありますので、予めお打ち合わせ下さい。</p> <p>○周囲環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 50℃以上、又は5℃以下の場合、電気部品に影響が出る場合があります。 ・ 高湿度あるいは結露が生じる場合、電気部品の不具合や、サビによる不具合の原因となることがあります。 <p>○ダクト内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高温の場合、ダンパーの劣化や、内部から熱が伝わることによる開閉器の不具合が生じることがあります。 ・ 低温の場合、外部側の結露による電気部品の不具合や、サビの発生につながります。 ・ 湿度が高く、結露が生じる場合、サビの発生による不具合につながります。

製品にはやむをえず鋭利な箇所があります。必ず作業用手袋等を着用し、素手での取扱いは避けて下さい。



取

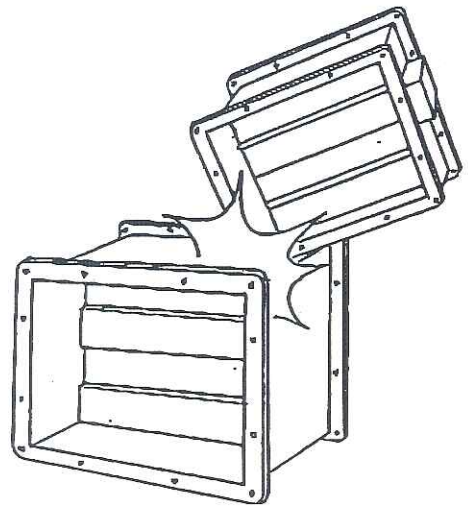
動作不良の原因が、電圧不足にあることがあります。

・・・通電状態で端子電圧を確認して下さい。

むやみに調整や分解を行なうと、破損したり、原因調査の妨げとなる場合があります。

り

落下させたり、衝撃を与えると、変形により、動作に支障をきたすことがあります。



付

け

ダンパー内部及びダクト内部に異物が混入していないことを確認し、異物がある場合は完全に取り除いて下さい。

・・・異物が混入すると、閉鎖の妨げになります。

